

# 令和7年度第2回新居浜市広報委員会会議録

日 時 : 令和7年8月28日(木) 14:00~15:00  
場 所 : 新居浜市役所4階 41会議室  
出席委員 : 吉岡奈津子会長、久持信委員、石川千凡委員、石川徹委員、桑原和也委員、菅洋平委員、松本佳奈委員、岡龍聖委員、古川友三委員(計9名)  
欠席委員 : 宮脇立志委員、中島あずさ委員、鈴木亜希子委員(計3名)  
事務局 : 青野副課長、白川係長、野口主任、高須賀主事(計4名)

## 1 開会

## 2 会長挨拶

今回も前回同様、事前に皆さまから市政だよりについて様々なご意見をお伺いしております。お忙しい中、ご協力いただきありがとうございます。また、前回皆さんからいただいたご意見など、取り組めるものから取り組んでおり、そちらの報告も今回させていただく予定になっております。本日につきましても、市政だよりに対するご意見が色々あると思いますが、忌憚のないご意見を皆さまから頂ければと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

最後に報告を1点させていただければと思います。8月号の市政だよりにも載せておりますし、ラインやテレビの番宣等でも放映されておりますが、新居浜市は市政広報番組をはじめることになりました。まさに本日、南海放送より9時54分から4分程度の番組が放映されます。今回は1回目の放送ということで皆様にもご覧いただければと思います。職員につきましては、番組のテーマにつきまして募集しておりますので、担当課で何かテーマがございましたら、どんどんご応募いただけたらと思います。本日は、よろしくお願いいたします。

## 3 議題

### (1) 前回の広報委員会後の取り組みについて

前回の広報委員会後の取り組みについて報告します。若い世代に関心を持って読んでもらうため、できることから取り組んでいます。

・手にとってもらえるよう表紙を子どもやペットの写真など身近で親しみのあるものにしてている。

・写真を多用しまちの話題を増やした。万博特集、あじさいや菖蒲などの季節の花、花火大会、敬老の日特集、世界で活躍するアスリートを紹介するなど、より多くの市民を取り上げている。

- ・ 7月より市政だよりの発行や取材内容を **Instagram** にあげている。(広報誌を見ない世代に **SNS** から市政だよりを見てもらうことが狙い。)
- ・ 7月号より新規配布先として **JR 新居浜駅**にある「ここくる新居浜」にも市政だよりを設置している。
- ・ 8月号からの子育て情報のページは、カエルや猫の枠を使用。楽しさやかわいらしさを感じてもらえるように変更した。

#### 検討していること

- ・ 小中学校、高校の記事を年間通して掲載する。(学校の取り組み、魅力紹介など)
- ・ **HP** のレイアウト変更は、**2027年**を予定している。それまでに準備する。
- ・ **HP** のカレンダー機能については、現在準備中で出来次第開始する。

## (2) 新居浜市の広報について意見交換

事前に新居浜市の広報について良い点、提案・改善点についてアンケートをとり、まとめたものを5分程度各自で読んだ後、提案や改善点等について全員が順番に発表した。

今回の話し合いのテーマは、

- (ア) 若い世代に読んでもらえる市政だよりにするにはどうすれば良いか。
- (イ) 市政だよりの配布方法について、現状にプラスしてできることはないか。自治会に入っていない人に読んでもらうには。
- (ウ) その他自由意見

事前にいただいたご提案について、別紙にまとめましたのでご覧ください。(約5分)こちらについて、順番にご意見をお聞かせください。また、テーマ以外の内容でもかまいません。時間は30分ほどを予定しています。

### (ア) 若い世代に読んでもらえる市政だよりにするにはどうすれば良いか。

- ①若い世代は、市政に興味がない。関心を持たせるのは難しく市政だより云々の問題ではない。Uターンしてきた人の紹介や飲食店の紹介などは商業になるので無理だと思うが、何か市政と関係が薄くてもいいので若者にとって魅力的なコンテンツを一部盛り込み、市政だよりを手にとるきっかけとなれば良いと思う。
- ②飲食店・雑貨屋などの紹介。紹介した店の **SNS** に市政だよりを置いてもらう。
- ③**Instagram** のリンクをプロフィールに貼っているが、投稿欄に貼った方が見やすいのではないか。小学校、中学校、高等学校、高専、専門学校、支援学級、教育訓練校 等の図書コーナーへ配布する。
- ④高校生などの学生がたくさん写ったページを作る。特集のような感じで見開きで毎月ど

ちらかの学校を掲載する。Z世代などのインタビュー記事を掲載すれば本人やその周囲の人達が読むのではないか。小学校、中学校、高等学校等の図書コーナーへ配布して、手に取ってもらうきっかけにする。

⑤育児に関するお役立ち情報や緊急時の対応方法などの記事を何回かに分けて連載する。親から子に見せてもらうこともあるのではないか。

⑥Z世代などのインタビュー記事を掲載すれば本人やその周囲の人達が読むのではないか。

⑦Web版の読みやすさ改善する（子育て、イベントなどの項目選択で該当ページへ遷移）。

⑧文字の量を減らして写真を増やす。ページ数が多いと読む気になれないので減らす。

⑨小学校、中学校、高等学校、高専、専門学校、支援学級、教育訓練校等の図書コーナーへ配布。まず、子供達が市政だよりに触れる機会を増やす。（図書室に市政紹介コーナーを設ける。）学校で市政教育をする。道徳の時間などに市政だよりの紹介をしてもらう。市政だよりに触れる機会を設ける。

⑩情報文章一辺倒な編集だけでなく、漫画、クイズや文芸コンテスト（景品付き）など若者の興味をそそるコーナーを考える。堅苦しいものでなくていい。

⑪若者の交流企画（ボランティア情報、音楽イベント、スポーツイベント etc.）を立案、掲載・募集する。若い世代への交流の機会をつくる。

⑫学校行事などの写真、子供たちをたくさん載せてほしい。市政教育に簡単で効果的である。

（イ）市政だよりの配布方法について、現状にプラスしてできることはないか。自治会に入っていない人に読んでもらうには。

①高齢化、単身世帯（高齢者、未婚者 etc.）の増加に伴い、更なる細かい公助、共助の必要性が求められる時代に、地域の伝統、安全で健康な市民生活環境を守り、市政の円滑な推進の為にも共助の母体となる自治会活動を維持することは必須となっており、まずは、市民の自治会への加入促進、組織率の維持を如何に図るかは喫緊の課題であり、市民教育、啓蒙活動を勧めて欲しい。

②現状の自治会への市政だより配布賛助金交付を増額し（ポスティングシステム業者委託経費勘案）、自治会活動の財政援助を強めてはどうか。

③お年寄り、高齢者など老人福祉介護施設への入所で自治会を離れる高齢者をフォローする為、市内全ての介護施設の希望者に配布する。

④視覚障がい者への対応はしているか。配布される相手のことを今以上に考えてほしい。

⇒声の市政だよりで対応。点字の市政だよりもある。

⑤イオンに置いてあるが、もっと人目につく入口などに設置する。

⑥今回の案の中で今まで考えていなかった案はあるか。

⇒イオンのフードコートテーブルに、市政だよりが表示されるQRコードを置く、イオンの入り口に置くなどは考えていなかった。病院の待合室には置いていない。検討していない内容については、検討していきたい。介護施設にも配っている。要望があれば送っている。

- ⑦自治会員組織率が 50%を切った時点で、配布システムを業者委託ポスティングシステムに切り替えたらいいが、市税がかかるので市はもっとできる努力をしたらいい。
- ⑧市の関係している企業に市政だよりを配布する。
- ⑨イオンのフードコートのテーブルに、市政だよりが表示されるQRコードを置く。中身を入れ替えて同じQRで毎回最新号が読めるようにする。
- ⑩病院などの待合に市政だよりを置く。持ち帰るより読んでもらえる。
- ⑪スーパーやアパートの入り口など人が集まるところに置いて誰でも取れるようにする。
- ⑫もっと SNS を活用する。
- ⑬あかがねポイントのアプリ内に市政だよりを入れこむ。
- ⑭単身向け賃貸集合住宅（非自治会員が多いと推測でき、ポスティングの効率がよさそう）にのみポスティング。不公平感が課題。

#### (ウ) その他自由意見

- ①市政だよりだけでなく、他の広報活動をする際に、自治会をうまく使うとコストが安く済むのではないか。市の無駄な費用の支出も抑えられる。自治会はボランティア組織だからうまく育て上げること。加入の促進、組織力の強化を図ることが課題。市民教育を進めてコストの削減につなげる。ポスティングシステムは、お金がかかる。税金がかかる。自治会の加入率促進にもっと力を入れてほしい。
- ②高齢者の交流企画（ボランティア情報、定期健康マージャン大会 etc.）を立案、掲載募集する。健康体操には力を入れている。元気に長持ちする人を増やす。
- ③国政への無関心、投票率の低さ等に見られる様に、若者の市政への関心も低いのが根本原因であり、まずは小学校教育段階から、地方〜国政政治への関心を高める、偏りない教育機会を増やすことが必要と思う。
- ④政治や詐欺で、SNS での過激で面白い情報に振り回されるトレンドを、見つめ直すヒントを与えるような情報を掲載して欲しい。詐欺も多発している。
- ⑤市政だよりの読者アンケートはしているか。  
⇒広報アンケートはしている。改善できることから実施している。
- ⑥市 HP や SNS などに要望を投稿するフォームを作り、市民が必要とする情報をリサーチして冊子作りに反映できれば良いと思う。
- ⑦市政だより単独で完結するのではなく、市政だより掲載記事の詳細情報や最新情報を市 HP で閲覧するといった、相互に連動するような仕組みにしてはどうか。
- ⑧各課所で掲載したい記事があると思うので、記事を作成する際に読者の興味を引くよう工夫すると良いと思う。（市役所食堂のクーポンをつけるなど）
- ⑨配布にいくらまでなら費用をかけられるか。月に1度高校生のアルバイトによる市政だよりポスティングを募集するのはどうか。高校生なら集まるのではないか。

### (3) 連絡事項

事務局： 次回の広報委員会についてご案内いたします。第3回の広報委員会は、12月1日(月)14時から開催する予定です。また日程が近づきましたら、ご案内させていただきます。

## 4 閉会